



ゴロスケ報々



カラスザンショ

定例行事の報告

●「森の案内人・ハンミョウの会」報告●

ハンミョウの会では毎月第一日曜日の11時と13時に「季節の森を歩こう」という一般来園者向けのガイドウォークを行っています。1月はお正月があったので10日に2回合わせて30名の来園者といっしょに冬の森を歩きました。

テーマは、生きものの冬の姿です。センターの前でオオカマキリの卵のうを見つけて触ってみました。フワフワしてる、思ったよりかたい、など感じ方は様々です。スポンジ状の卵のうで寒さから守られたたくさんの卵が真ん中につまっています。

樹木に目を移すと、花や葉っぱはないものの、冬芽が春がくるのを待っています。冬芽の中には大切な花や葉っぱが入っているの、うろこ状のものやフワフワの毛でおおわれているものがあることを観察できました。

地面ではアザミが這うように何枚もの葉っぱを広げています。どんな感じなのか、みんなで地面に寝転んでみました。風があたらず太陽を浴びてぼかぼかです。なんと場所によってはもうアザミが開花！

これから生きものたちが動き出すのが楽しみです。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●1月定例会報告●

日 時 2016. 1. 17 (日) 13:00~15:00

出席者 青木、池田、大浦、落合、篠原、島根、関根、高橋、中里、橋詰、八田、藤田、村松、山口、渡部、古南R

議 題

1. 友の会の行事報告、プロジェクト活動報告をしました。
年度計画通りの行事を実施しました。
2. 友の会の行事予定を確認しました。
3月に予定されていた「森の生きもの講座」は都合により中止させていただきます。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・12月23日の望年会は参加者は40名でした。ゴミハイのあとつきたてのお餅、豚汁、焼き芋を美味しくいただきました。参加者の皆様、ご苦労様でした。なお今年も、瀬上さとやま森の会よりもち米を提供して頂き、ありがとうございました。
 - ・カレンダーの販売、ありがとうございました。12月20日に完売しました。
 - ・新会員1名。「野草の保護と調査」PJに入られました。
 - ・来年度の「森を守るボランティア体験」の担当PJが決まりました。
4月 畑+ハンミョウの会 6月 鳥のくらし発見隊 8月 自然と遊ぼう
12月 雑木林ファンクラブ 2月 カワセミファンクラブ
来年度から10月は「秋まつり」と兼ねます。10月のゴ
ロ報の印刷・発送は野草の保護と調査でお願いします。
5. センターより
業者による環境管理、補修工事の説明と行事の予定などの説明がありました。
詳しくはセンターだよりのページをご覧ください。

次回は
3月20日(日)13:00~
観察センター研修室で
定例会は会員どなたでも参加
できます。

●1月理事会報告●

日 時 2016年1月17日(日)9:35~12:15

出席者 青木、秋元、漆原、大浦、落合、志釜、関根、中里、中塚、村松、山口(議長)、橋詰、古南R(欠席:片岡)

議 題

1. 次年度事業計画
 - ・次期(2016~19)中期事業計画[①情報発信を充実させます。(ごろすけ館活用、30周年関連事業など)②保安全管理計画を活かします。]を決定しました。
 - ・ごろすけ館展示の充実などを盛り込んだ行事計画案を作成、PJ活動計画を確認しました。
2. 定期総会準備
 - ・理事監事再任・変更について確認しました。
3. 利用推進会議
 - ・3月12日(土)13時開催(15時保安全管理懇談会)予定・議題を確認しました。
4. 安全管理
 - ・講習会(普通救命1月24日)の参加費友の会負担を決定、再募集手配。
 - ・緊急時対応のリーダー勉強会や各PJでの自主訓練などについて意見交換しました。
5. その他
 - ・望年会、カレンダー早期完売、次年度森ボラ・ふむふむ・表紙絵担当、本郷台・金沢区役所展示(活動時写真の追加)、行事チラシの各種施設配架、封筒・プリンター購入、Webページアクセス状況、薪割り機貸与、上郷東連合町会長からの依頼(栄区30周年お神輿デザイン提案)等について報告・分担・意見交換しました。

次回理事会予定
日時 3月20日(日)9:30~12:00
場所 自然観察センター研修室
議題 1 定期総会準備
2 安全管理
3 その他

●第28回定期総会のお知らせ●

昨年は各PJ活動も一層充実し、秋まつり、望年会も盛況でした。2016年度も皆様の協力のもと、横浜自然観察の森と友の会の活動を発展させていきます。会員の皆様のご参加・ご協力・ご提案をお待ちしています。

日時 2016年4月3日(日) 10:00~12:00

場所 自然観察センター研修室

議案
 ・2015年度事業報告・決算報告
 ・2016年度事業計画・予算
 ・理事監事の選任
 ・その他

◆終了後、「森の説明会」(隔月で開催している「森を守るボランティア体験(通称「森ボラ」)」のオリエンテーション部分=観察の森の役割、友の会の活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラに未だ参加していない会員の方は、この機会に是非ご利用ください。(当日受付時に事務局までお声かけください。)

●友の会の理事、事務局お手伝い(特に、「秋まつり」など交流行事のお手伝い)を募集しています!●

- 4月の総会に向けて、次年度から理事に加わっていただける会員を募集します。
- 定例会や交流行事準備など事務局をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。

<新入会員・初心者歓迎!>

皆が楽しく集える行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか?

これまでに学生等でも理事として活躍した例があります。無理のない範囲の参加でOK、どなたでも大丈夫です。

理事の会員公募枠(3名以内)は幅広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適!>

何かと役立つグループ運営の実践や自主研修、ボランティア活動のきっかけとして、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加・体験いただけます。

理事は会員公募枠の他に、事務局枠(5名)、PJ枠(各PJ 1名ずつ)もあります。詳しくは事務局メンバーや各PJへもご相談ください。

<緊急募集!>

◎ネットワーク担当補助

いるか丘陵や小網代などでのネットワークイベントへの参加を担当します。イベントはメーリングリスト等での募集に応じて会員が参加しています。多くの会員の参加でネットワークの輪を広げましょう!

◎会計担当補助

支出(清算)は原則として2ヶ月に1回の会議のときとするなど、担当者に合わせたペースでOK。入金(振込)管理については会員名簿管理担当や事務局メンバーと相談しながらできて安心です。

◎事務局ボランティア(事務局員)

主要な事務(会計・会員管理・編集・定例会・書記・渉外(ネットワーク)など)は担当理事制で役割分担しているため、行事・会議のお手伝いが中心となります。まずは定例会への参加や恒例の交流行事の準備などから始めてみてはいかがでしょうか。

<皆様の参加をお待ちしています!>

詳しい役割分担については4月総会后最初の理事会で調整・決定します。

多くの方に少しずつご協力いただけると、1人1人の役目がわかりやすくなって実行しやすくなります。

理事・担当の希望者は3月理事会(3月20日)の前までに今年度理事又は事務局へご連絡ください。

●森を守るボランティア体験(12月) 報告●

日時 12月20日(日) 9:30~14:00
 テーマ: むぎふみと森の絵本の読み聞かせ
 メンバー6名 参加者2名

年末の寒さの中、参加者が1人もいないのではないかと心配しましたが、友の会の行事にもよく参加している親子2人が来てくれました。

スライドを使った観察の森と友の会の紹介の後、フィールドを体験してもらいました。体験の最後に畑で、麦踏みとこのフィールドが自然観察の森になるまでの変遷を描いた絵本の読み聞かせを行いました。昼食後には、ゴロ報の発送を参加者も含めた全員で行いました。

今回は森の絵本作りの会と畑プロジェクトという小さなグループの合同での実施でしたが、中里事務局長のご支援もあり無事終わりました。また、合同実施はメンバーにとっても他のグループの活動内容を知る上でよい機会となりました。(畑プロジェクト 落合)

友の会活動報告

●森の作業体験「間伐」の活動報告●

実施日: 1月23日(土) 参加者: 一般3組6名 会員: 13名

厳しい寒波なれど晴天下、クヌギ林で「間伐」体験。参加者は親子2組を含め6名。参加者は全員が意欲的で、特に自力で「のこぎり」を引き切り、見事倒木に成功の晴れがましい小学生の姿もみられました。昼食後は竹細工、火起こし、コースターづくりに挑戦。難しい「火起こし体験」に挑戦、着火成功でここ2年間で二人目の認定証を手にするお父さんもおられました。

体験会終了後もなお「竹細工」に挑戦する等、参加者の熱心な姿が特徴的な冬の「森の作業体験」でした。
 担当: 雑木林ファンクラブ

●安全管理講座「救急救命講習」 大切なのは脳への血流●

ここ数年実施している友の会の安全管理講座は、一昨年はスズメバチ、昨年はマダコと野外活動で危険性のある生きものを対象にしてきましたが、今年度は急な事故や病気の際の救命率にかかわる「救急救命講習」を実施。

1月24日(日)に行った3時間の講習の参加者は、友の会の会員の他、観察センターのレンジャーも含めて18名。多くの方が本格的な講習は初めてのようでした。

講師は横浜市栄消防署の職員2名に来ていただきました。

前半は、ビデオを使った説明で、救急隊(救急車)到着までの間の市民による救急救命措置の重要性や、具体的な胸骨圧迫(心臓マッサージ)、AEDの使い方などを学びました。

後半は参加者が2班に分かれ、人形を使って、倒れている人を見つけてから周囲の人の協力を求めながら救急隊が来るまでにやるべき救急救命の手順を実習。

印象に残ったポイントは、以下の3点。

- 救命や社会復帰のために最も重要なのは脳への血流を維持すること。その意味で心肺蘇生というより、心肺「脳」蘇生と言うべきかもしれない。

心臓は止まってもまた動くことがあるが、脳の細胞が破壊されると回復しない。

- しかも脳へのダメージは心肺停止後2分を越えると大きくなるので、救急車を呼ぶとともに、到着を待たず、とにかく早く胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの措置を始めること。

- AEDは心臓が元の状態に戻るためのもの、というのは間違いやすい誤解。中には戻ることもあるが、心房細動を止め心停止にして胸骨圧迫(心臓マッサージ)を効果的に行うためのもの。

また、救急救命措置も年々進歩しており、2~3年ごとに再受講して知識や体験を更新することも大事とのことでした。

受講者には「普通救命講習修了証」が交付されます。

いつどこで出会うかわからない事故や病気。生身の人間に触れて措置するというのは躊躇しがちだが、一步の勇気が生命を救うのに大変重要と認識した有意義な講習でした。

担当: 中塚(安全管理担当理事)

相続を考える

みなさんは「相続」について考えたことがありますか？将来の相続について、生前にきちんと考えておかないと、実際に起きたとき、後の世代の人が大変な思いをするかもしれません。相続はお金持ちに限らず、すべての人に起こるものです。ただし「亡くなると必ず相続税の申告をしなければならない」「誰でも相続税を支払わなければならない」というわけではありません。実際に相続税の申告をする必要がある人は、平成25年の税制改正（平成27年1月1日以後に相続により取得する財産に係る相続税申告しなければならない人は、基礎控除額5000万円と相続人数一人当たり1000万円が基礎控除額3000万円と相続人数一人当たり600万円に基礎控除額が減額されました。）で相続税を考えなくてはならない人が増えました。

相続を知って10月以内に相続税の申告を提出することで税額を軽減することができる法律の中の主なものは、小規模宅地等の特例（土地の評価額を20パーセント）と配偶者の税額の軽減（相続財産の法定相続分の2分の1と1億6千万円の多い金額の税額控除）です。期限内で申告できるのは、相続での争いが無いことで遺産分割協議が終えることです。相続財産の分割で相続前仲が良くても相続人同士の「感情」の噴出がでて親戚付き合いも無くなる事があるのです。

被相続人は、遺言書を作り生前に遺言書の内容をちゃんと相続する人に伝えることで亡くなった後の親子喧嘩、兄弟喧嘩の元を残さないことです。

友の会行事のお知らせ

●はじめてのちいさなしぜんかんさつ会●

春、いろいろないきものたちが動きだします。いきものたちとの出会いを親子でいっしょに楽しみましょう。ほんもののおたまじゃくし・ほんものスミシにふれ、ほんもの自然にかこまれて、こどもたちが感じたことに耳をかたむけてみませんか。

日時：2015年3月20日（日）小雨決行（大雨の場合は、翌週3月27日（日））
午前の部：10:30～12:00、午後の部：13:30～15:00（2回とも同じコースです）

場所：横浜自然観察の森

対象：3才～小学校2年生と保護者 40名

（午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選）

申込：3月5日までに、下記のFAXかメールで「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当宛に、参加者のお名前、人数、お子さんの年齢、午前か午後か、連絡先の電話番号・あればFAX番号とメールアドレス、をお知らせ下さい。12日までにご連絡いたします。

FAX：045-894-8892

メール：kansatsunomori@gmail.com

問合せ：上記FAXまたはメールアドレスへ。

主催：横浜自然観察の森友の会事務局「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当

Y OKOHAMA NATURE SANCTUARY NEWS 2

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2016年 2月号

お知らせ・お願い

●アライグマ捕獲の途中経過

今シーズンのアライグマの捕獲も友の会有志のみなさんによる巡回ボランティアのご協力をいただき、昨年11月から開始しています。1月末現在、5頭捕獲できました。また、森に食べ物が少ないのかアライグマの罠にかかるタイワンリスの捕獲数は昨年よりハイペースで、17頭にのぼっています。引き続き活動は3月中旬まで行います。本件お気づきのことなどありましたら、担当の掛下までご連絡ください。

●園内の工事の予定

3月まで、引き続き、園内の環境管理や利便性・安全性向上のための作業や工事を行っています。

◆作業

○樹木伐採：ノギクの広場の枯マツ除去、ノギクの広場周辺のモウソウチク・シュロ除去、コナラの道19～20のヒノキ・スギ間伐約20本、桜林の樹病木・外来種樹木（16本；ソメイヨシノ・カスミザクラ・オオシマザクラ・コブシ・ヤマモモ・スタジイ）、その他外来種樹木（ミズキの道・タンポポの道ぞいのトウネズミモチ・サトザクラ、アキアカネの丘下のハリエンジュ、長倉口のメタセコイア3本、コナラの道・ミズキの道ぞいのマテバシイ3本）、霊園口の階段ぞいの高木・低木（カラスザンショウ、ヒメコウソなど；通行・林縁への日あたり確保のため）、カシの森の長倉町に面した部分のコナラ等（強剪定、ご近所の安全確保のため）

○笹刈り：コナラの道ぞいの（7から9の間で3カ所）、アズマネザサが繁茂している部分を道から幅0.5mくらいで刈りとり。通行を確保し、林縁の植物が観察できるようにします。

○側溝・横断溝の泥上げ：コナラの道・ミズキの道

○コナラの道の排水改善のための横断溝素掘り

◆工事

○柵と手すりの設置：林内や源流の岸边、崖地に人が入るのを防ぐため、以下の箇所で行っています。モンキチョウの広場あすまや裏、コナラの道3・7・19付近、ミズキの道6・7・8・9・13付近、生態園野外トイレ付近。ミズキの道13（長倉口野外トイレ付近）以外は、まもなく完成する見込みです。

○施設名称板の設置：霊園口

○段差解消（ミズスマシの池の入口、アキアカネの丘上入口の2カ所）：ヒノキの間伐材を利用

○長倉口：野外トイレの排水管設置のため、長倉口は通常の入口を閉じ臨時的な入り口から出入りしていただいております。3月末までは仮設トイレの方をご利用ください。

ご迷惑、ご不便をおかけしますがご容赦ください。園内の生物や皆様のご利用に極力影響が出ないよう進めていますが、お気づきの事やご要望があれば、レンジャー古南、瀧本までご連絡ください。



<保安全管理計画のフォローアップ>

★保安全管理フォローアップの会★ 報告

第5回 1月11日（祝） 12:00～15:00

○参加者 友の会他21名（和田全弘さん、吉田賢一さん、佐々木美雪さん、渡部克哉さん、篠原由紀子さん、八田文子さん、藤原功さん、村松古明さん、上原明子さん、山路智恵子さん、高橋百香さん、落合道夫さん、志釜じゅんこうさん、大浦晴壽さん、関根和彦さん、橋詰齊さん、小泉喜弘さん）
横浜市（藤田智さん）、レンジャー（古南幸弘、瀧本宏昭、掛下尚一郎）

○講師 金子信博先生（横浜国立大学大学院教授）

○内容 土壌の基礎知識や簡易的な調査の方法を、実習を通して学び、土壌構造の観点から森をみる方法をアドバイスいただきました。

最初に座学で土壌構造の成り立ち、土壌中の生物は陸上よりも10倍いること、樹木が生えることで土壌が影響を受けてpHが変わること、生える木の種類によってもカルシウムなどの栄養塩類の土壌中の比率が変化することなどのお話がありました。その後、桜林の実習では、「土壌断面の観察」「土壌硬度」「土壌サンプルの採取」の3つの調査をおこないました。土壌断面では、桜林が過去に谷を埋め立て造成された土地であり、水はけが悪いことと、常緑樹の植わっている林床に対して落葉樹の植わっている林床の方が新たな土壌が形成される速度が速いことがわかりました。土壌硬度では、落葉樹の林床と比べ常緑樹の林床の方が土が堅いことがわかりました。土壌サンプルの採取調査では、一定の量を採取し比較した結果、土壌の浅い部分の方が土の粒子と粒子の間隙が多く、その分土中の水分や空気が特に多く含まれること、隙間は容積にして5割から7割もあることを学びました。

今後、森を管理していく上で、土壌を調査することが過去の森の履歴を知り、本来の横浜の森を育むためのヒントになることを学ぶことができました。(瀧本)

<これからの予定>

★保全管理フォローアップの会★

3月5日(土)13:00~15:00 内容:2015年度のふりかえり

今年度皆さんにご参加いただいて調べてきた桜林の環境と、伐採の進行状況について、ふりかえります。また、雑木林ファンクラブの皆さんが調査を続けてきた炭小屋裏のスギ・ヒノキ林のその後の調査結果と伐採の状況についても合わせてお聞きします。

★保全管理懇談会(後期)★ 3月12日(日) 15:00~17:00 研修室にて

今年度、横浜市とレンジャーの行った環境管理作業(草刈や伐採など)や、補修工事についてご説明し、意見交換を行います。園内の環境管理に関心をお持ちの方なら、どなたでもお越しください。

資料の準備のための人数把握の都合で、ご出席される方は、できるだけ前日までに古南または瀧本までご連絡ください。ただしお申込みなしでも参加できます。(こみなみ)

ホランディアン

12/7~2/7

ありがとう

- 12/19、12/26、1/20 雑木林ファンクラブの皆さん:薪ストーブ用の薪のご提供
- 12/27 雑木林ファンクラブの皆さん:年始のしめ飾りの飾りつけ
- 1/10 ハンミョウの会の皆さん:(公財)日本野鳥の会のレンジャー体験実習生受け入れ
- 1/11 カワセミファンクラブ 佐々木祥仁さん:展示用ノスリの羽標本のご提供
- 1/16 漆原弘光さん、中里幹久さん、上原明子さん、水上重人さん:「林の野鳥調査隊」のサポート
- 1/20 雑木林ファンクラブ 石黒陽子さん:パイスケDVD新作のご提供
- 1/23 雑木林ファンクラブの皆さん:(公財)日本野鳥の会のレンジャー体験実習生受け入れ
- 1/30 鳥のくらし発見隊 中里幹久さん、上原明子さん、今村修さん、矢島静さん:
「親子でバードウォッチング」のサポート
- 12/7~2/7 カワセミファンクラブの皆さん:展示用野鳥等写真、自然情報のご提供
- 12/7~2/7 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん:開花情報のご提供
- 12/7~2/7 アライグマ捕獲わなの巡回



横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

本号のイラスト
黒川マリア

行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●はじめてのちいさなしぜんかんさつ会

3/20(日) 小雨決行

(大雨の場合は、翌週3月27日(日))

午前の部：10:30～12:00、午後の部：13:30～15:00

(2回とも同じコースです)

場所：横浜自然観察の森

対象：3才～小学校2年生と保護者 40名

(午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選)

申込：3月5日までに、下記のFAXかメールで

「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当宛に、参加者のお名前、人数、お子さんの年齢、午前か午後か、連絡先の電話番号・あればFAX番号とメールアドレス、をお知らせ下さい。12日までにご連絡いたします。

FAX：045-894-8892

メール：kansatsunomori@gmail.com

担当：横浜自然観察の森友の会 事務局

●第28回定期総会

4/3(日) 10:00～12:00

場所：自然観察センター研修室

対象：友の会会員

議案：・2015年度事業報告・決算報告

・2016年度事業計画・予算

・理事監事の選任

・その他

◆終了後、「森の説明会」(隔月で開催している「森を守るボランティア体験(通称「森ボラ」)」のオリエンテーション部分＝観察の森の役割、友の会の活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラに未だ参加していない会員の方は、この機会に是非ご利用ください。(当日受付時に事務局までお声かけください。)



●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～

4/17(日) 9:30～14:00 雨天催行

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

3/6(日)・4/3(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

3/13(日)・4/10(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

3/16(水)・4/20(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

3/19(土)・4/16(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

2/27(土)・3/26(土)・4/23(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2016年2月21日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com